

# 感染症情報 8月19日～25日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①手足口病	526例(堺市	32例)
②感染性胃腸炎	511例(堺市	41例)
③溶連菌感染症	272例(堺市	49例)
④RSウイルス感染症	98例(堺市	13例)
⑤ヘルパンギーナ	83例(堺市	10例)

府下306医療機関(堺市29)から

**インフルエンザ** 83例(堺市 9例)

報告数による順位。前週比63.8%増の1,625件であった。前回はお盆期間を含んでいた。手足口病が府下で50%増、堺市で前週19例→今回32例であった。感染性胃腸炎が府下で前週から111%増、堺市で前週9例→今回41例。溶連菌感染症が府下で70%増、堺市で前週12例→今回49例。RSウイルス感染症が府下で20%増、堺市で前週4例→今回13例であった。ヘルパンギーナが府下で11%増、堺市で5例→10例であった。

基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で66例→62例で4例減。堺市で13例→16例であった。

インフルエンザが府下で前週35例→今回83例は137%増であった。堺市で前週1例→今回9例であった。

府下306医療機関(堺市29)から

**新型コロナウイルス感染症** 1,620例(堺市 199例)  
大阪府定点 5.29 堺市定点 6.86

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
92	138	84	164	137	146	143	181	121	218	196	1620

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回1,403例→今回1,620例は15%増も、前回がお盆期間を含んでいたことを考慮する必要がある。定点当たり4.58→5.29。堺市で前週171例→今回199例は16%増、定点当たり5.90→6.86は大阪府のブロック別でまたワーストになった。

麻疹や風疹の報告なし。